

名古屋支部

金山総合駅連絡通路橋で 通勤・通学の乗降客に 啓発活動を展開

5月30日（月）各支部の先陣を切って、名古屋支部（新美三良支部長）の不法投棄防止キャンペーンが実施され、支部長、役員、会員ら35名と名古屋市環境局廃棄物指導課係長 中村 晃氏ら職員4名、協会から小坂元信事務局長が参加しました。

今年は金山総合駅連絡通路橋の一角に特設コーナーを設け、名鉄、JRを利用する乗降客や南北に通る市民に向けて、ごみの不法投棄防止を呼びかける啓発活動を実施しました。

特設コーナーでは、名古屋支部の事業活動（藤前干潟の不法投棄物撤去作業や天白川清掃活動など）を写真で紹介した展示ボードを掲示し、周りに数十本ののぼりを立て、朝のラッシュ時でしたが人目を引きました。今回は女性の支部会員も多く参加し、通勤・通学の乗降客が行き交う名鉄、JRの改札口付近や、地下鉄に向かうエスカレーター付近まで出向き、明るい声でごみの不法投棄防止を呼びかけ、笑顔でウェットティッシュを手渡していました。

啓発活動は午前11時30分に終了し、永井弘児副支部長は「早朝のあわただしい時間帯でしたが、展示ボードには103名の方が足を止め、写真を見入る多数の方がいました。これまでの支部事業が多くの方にアピールでき、非常に良かったと思います。」



金山総合駅連絡通路橋内に特設コーナーを設営



と挨拶がありました。

その後、当協会3階会議室で中村係長らも加わり反省会が行われ、一人ひとりからキャンペーンの感想が述べられました。



ウェットティッシュを手渡し、不法投棄防止をアピール



支部事業を紹介した写真ボードを見る乗降客

<女性支部員の声>

- ・ウェットティッシュに書かれた文字「不法投棄ダメ！」に喜んでもらえた。
- ・ウェットティッシュは非常にいい印象でした。
- ・写真パネルはごみにならないからいいと思いました。

<男性支部員の声>

- ・昨年よりチームも良く、組織的に動けたこともあり注目も浴びた。
- ・今年は連絡通路橋での啓発活動でしたのでたくさんの市民にアピールできました。
- ・はじめての特設コーナーの設置でしたが、パネルを見てもらうための工夫や人の流れもよくわかりました。
- ・ノベルティの数が少なかったように思いました。
- ・もう少し時間帯を考えたらと思いました。
- ・特設コーナーに、不法投棄相談コーナーがあったらいいなあと思いました。
- ・通勤ラッシュ時だったので人の流れが北口へ集中し、写真パネルを見てもらえなかった。
- ・早朝より、夕方の帰宅時間帯の方がよりPRできたと思います。

中村係長からは「会場の手配などタイトなスケジュールでしたが、市民の皆様の良いアピールができたと思います。」とキャンペーンの成果を讃える挨拶がありました。